

解答

- ① 保管 ② 紀行 ③ 静養 ④ 衛星 ⑤ 勞力 ⑥ 未知 ⑦ 不覚 ⑧ 険〔しい〕
 ⑨ 操縦 ⑩ 蔵書

二

- 問一 エ
 問二 イ
 問三 ウ
 問四 ア
 問五 エ
 問六 イ
 問七 バスへ感謝が、無私という奥ゆかしい行為に表れている点。

三

- 問一 ウ
 問二 エ
 問三 先生がきたとたん、止めに入り、いい人になるところ。
 問四 ウ
 問五 暴れていた怪獣が、ウルトラマンに倒された後に、壊した建物を修復（していたら、おかしいだろう。）
 問六 ア
 問七 イ

解説

二

問三 直前の段落に着目すると「和菓子も、日本人の美意識の結晶です。」という記述があります。前の部分では「寺の大きな屋根」、「禪の庭」、「指物」と同じように日本人の美意識が表れていることを説明し、和菓子は丁寧につくり込まれた「小宇宙」といってもよいと述べていることから、選択肢ウが最もふさわしいとわかります。

問四 続く部分で、清らかな玄関前の様子や、そこはかとなくかおっている部屋から、心配りの「跡」を客が感じとることを説明し、けっしてあからさまにしない、これ見よがしでないのが、日本のおもてなしの心であると述べていることから、選択肢アが選べます。

三

問四 ——線部⑥の前に着目します。教室の前に立つと、皆の目が怒っていて、裁かれているような気がして、ぼくはやっぱり悪いことはするもんじゃなないなと思っっていることがわかります。同時に、悪いことをしたとは思っているけれど、どこかうそっぽいなあと思っただことから、選択肢ウが選べます。

問七 花壇を直している場面で、ぼくは「みんな」が手伝ってくれたことに感動しています。一方、その「みんな」の中に大河が含まれていない気がして、複雑な気分になっている様子から、選択肢イが選べます。